



# 東っ子だより

— 学校教育目標 —  
せい いっぱい きたえ  
のびよう 東っ子  
自分を出し切り  
笑顔いっぱいの学校に

令和8年2月20日 NO.12

## 自分を信じて！仲間を信じて！

連続のメダルラッシュ！冬季オリンピック「ミラノ・コルティナ五輪」の17日目を迎えたところになります。

初日から熱い戦いを見せてくれた選手の皆さんでした。日本の選手が登場したのは第2日目以降、スノーボード男子ビックエアからでした。日本時間の早朝から、手に汗を握る試合でした。予選3位の木村選手が優勝。予選10位の木俣選手は2位とこの種目初のワンツー記録を出しました。また、岐阜県出身の選手もメダルを獲得しています。スノーボード女子ビックエアで村瀬選手が金・銅メダル。男子モーグルで堀島選手が銀・銅と2つのメダル、と活躍されています。特に、堀島選手はデュアルモーグルの2回戦目、ターンでバランスを崩しながら後ろ向きになったままゴール。『歴史に残るレース』と海外でも驚きのワンシーンとなったようです。

さらに、スキージャンプ混合団体で雪辱の「銅」メダル獲得というニュースも第5日目に飛び込んできました。4年前の北京オリンピックで、スーツの規定違反で失格となり、悔し涙を流した高梨選手の話です。現役引退も考えたこともあったようですが、人一倍懸命に努力し、たくさんの人に支えられ、銅メダル獲得に貢献されました。自身の競技が終わり、3位以上が確定したとき、前回のチームメンバーだった伊藤選手とハグをして涙をする様子もありました。

どの試合、どの演技も、多く選手が世界の舞台で自分の力を出し切って挑戦する姿がありました。結果だけでなく、その裏にある努力や最後まであきらめない姿に心を打たれました。うまくいかない時も、自分を信じて練習されたことでしょうか。仲間と支え合いながら、仲間を信じてチームワークの絆を深めたことでしょうか。「もっと上手になりたい」「もっと表現力を付けたい」等、様々な思いを積み重ねて、あの大舞台に立っていると思います。

学校では、1年の締めくくりとなる時期になりました。日々の学習や行事に真剣に取り組む子どもたちの姿があります。今後も、一つ一つの努力や体験を大切にしながら、目標に向かって挑戦する気持ちを大切にしていきたいと思っています。今後も温かな支え合いの中で、互いの可能性を伸ばしていきます。

## 本日「かがやき発表会」

本日、2月20日（金）「かがやき発表会」にご参加くださりありがとうございました。子どもたちは、「これまでに学んできたこと」と「歌」とを融合させながら自分を出し切ることができました。今日この日に向けて子どもたちは、自分を信じて、仲間を信じて頑張ってきました。どの学年も、今までに身に付けた力を最大限に発揮できていたことだと思います。

この発表会の「出し切る」姿は、次の言葉で具体化し、全校の目標としています。

① おおきなこえで

② はっきりと

③ ころをこめて

子どもたちは、学習発表会の伝統である「お・は・こ」で頑張りました。これは、今年一年で学んだことを「相手意識を大切に、自分の思いが自分の言葉ではっきりと伝わる」ように発表することです。3つの言葉の頭文字を合わせて「おはこ（十八番）」です。歌舞伎十八番から来る言葉です。

「自分が1年かけて身に付けたこと（得意中の得意）＝十八番」について、自信をもった発表となったのではないのでしょうか。学年の発達に応じた内容となっておりますが、いかがだったでしょうか。子どもたちが帰宅しましたら、今までの歩みや頑張りを聞いてもらいつつ、認め励ましをしていただけると、自信につながり今後の財産となると思います。

よろしく願いいたします。

校長 渡邊 克年